

## 1. 製品及び会社情報

製造者情報

会社名：有限会社 パシフィック化学  
 住所：〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-42-7  
 電話：03-3986-1578 FAX：03-3971-2613  
 作成/改正：2004 年 7 月 5 日/2022 年 5 月 1 日


整理番号 PS-DR

製品名 PS キズケシロン/ワイド (PS 版 修正ペン)

物質の特定 混合物

## 2. 危険有害性の要約

—内容液単品成分記載—

ミネラルスピリット(別名:ストゥガード溶剤)  危険

GHS 分類	分類結果	危険有害性情報
引火性液体	区分 1-3	極めて引火性の高い液体及び蒸気
皮膚腐食性/刺激性	区分 2	皮膚刺激
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分 3	眠気及びめまいのおそれ(麻酔作用)
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分 3	呼吸器への刺激のおそれ(気道刺激性)
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分 2	長期又は反復暴露により肝臓、精巣の障害のおそれ
吸引性呼吸器有害性	区分 1	飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ
水生環境急性有害性	区分 1	水生生物に非常に強い毒性
水生環境慢性有害性	区分 1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

有機酸：腐食性物質

製品はペン形態及び混合物なので必ずしもあてはまらない。

## 3. 組成及び成分情報

化学名	CAS No.	国連番号	含有量	PRTR 法
ミネラルスピリット	64742-47-8	1268	20%~30%	非該当
アピガム	9000-01-5		10%~20%	非該当
有機酸			1%~10%	非該当
水				

国連分類	: クラス 3
労働安全衛生法(通知対象物質)	: ミネラルスピリット
(名称などを表示すべき有害物)	: ミネラルスピリット
化学物質管理促進法(第一種及び第二指定化学物質)	: 該当なし
毒物及び劇物取締法	: 該当なし

## 4. 応急措置

—製品—

吸収した場合： (少量の容器なので、大量に吸収することは、ほとんどない)  
 直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、安静に努める。その後、  
 医師の手当てを受ける。

皮膚に付いた場合： 石鹼を使って大量の水で洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた時は、  
 医師の手当てを受ける。

眼に入った場合： 直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合： (少量の容器なので、誤飲することは、ほとんどない)  
 口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。気分が悪いときは医師の  
 手当てを受ける。

## 5. 火災時の措置

—製品—

適切な消化剤： 粉末、二酸化炭素、ハロゲン化物、アルコールが有効です。  
 使ってはならない消火剤： 棒状注水  
 消火方法： 火元の燃焼元を断ち、消火剤を使用して消火する。

6. 漏出時の措置

—製品—

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置 : 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。  
直ちに、すべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
関係者以外の立ち入りを禁止する。  
作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。  
風上に留まる。低地から離れる。  
密閉された場所に立ち入る前に換気する  
漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の  
保護衣を着用する。

環境に対する注意事項 : 環境中に放出してはならない。

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。  
漏洩物を取り扱うとき用いる全ての設備は設置する。  
蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。

7. 取扱い及び保管上の注意

—製品—

技術的対策 : 設備対策を行い、保護具を着用する。局所排気、全体換気を行う。  
安全取扱注意事項 : 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。  
皮膚、粘膜・着衣に触れたり目に入らないようにする。  
作業場は、換気を十分に行なう。  
接触回避 : 強酸化剤。ある種のプラスチック、ゴム、被膜材を侵す。  
保管 : 直射日光、火気を避け密栓し、換気の良い冷暗所に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない  
許容濃度 : 日本産業衛生学会勧告値 (2005) 設定されていない  
ACGIH (2005) TWA 100 ppm  
設備対策 : 使用後は直ちにキャップを閉める。又は局所排気装置を設置する  
保護具 : 状況に応じ有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、保護手袋等を使用する

9. 物理的及び化学的性質

—内容液—

物理状態 :	液体	自然発火点 :	データなし
色 :	乳白色	分解温度 :	データなし
臭い :	芳臭	pH :	1.8
融点・凝固点 :	データなし	動粘性率 :	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲 :	データなし	溶解度 :	水 ; 微溶 有機溶剤 ; 可溶
可燃性 :	なし (ペンタイプ )	蒸気圧 :	データなし
爆発下限界及び爆発上限界 :	データなし	密度及び/又は相対密度 :	データなし
/可燃限界		相対ガス密度 :	データなし
引火点 :	なし (ペンタイプ)	粒子特性 :	データなし

10. 安定性及び反応性

—製品—

反応性 : 安定  
化学的安定性 : 安定  
危険有害反応可能性 : 強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。  
避けるべき条件 : 空気との爆発限界内の混合ガス形成。  
混触危険物質 : 強酸化剤。ある種のプラスチック、ゴム、被膜材を侵す。  
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、二酸化炭素、刺激性のガス。

11. 有害性情報

急性毒性：	現在知見なし。
皮膚腐食性/刺激性：	皮膚、眼、鼻、喉を刺激する。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：	現在知見なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	繰り返し接触すると炎症を起こす。
生殖細胞変異原性：	現在知見なし。
発がん性：	現在知見なし。
生殖毒性：	現在知見なし。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	眠気及びめまいの恐れ。呼吸器への刺激の恐れ。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	肝臓、精巣の障害の恐れ。
誤えん有害性：	化学性肺炎を引き起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

生態毒性：	水生環境急性有害性：水生生物に非常に強い毒性。
残留性・分解性：	急速分解性がない。
生態蓄積性：	データなし。
土壤中の移動性：	データなし。
オゾン層への有害性：	分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは 地方公共団体がその処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装：	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に 従って適切な処分を行う。 空容器を破棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号：	1268
品名：	石油製品
国連分類：	クラス 3
容器等級：	III
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送：	消防法の規定に従う
海上輸送：	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送：	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号：	128

15. 適用法令

－内容液－

労働安全衛生法：	名称等を通知すべき有害物(ミネラルスピリット) 名称等を表示すべき有害物(ミネラルスピリット)
有規則：	第3種有機溶剤
消防法：	第4類第2石油類（150 cc以下のため表示義務なし）
毒物及び劇物取締法：	該当しない。
危険物船舶運送及び貯蔵規則：	引火性の物

## 16. その他の情報

### 引用文献等

- |              |   |               |
|--------------|---|---------------|
| ① 化学工業日報社    | : | 12000 の化学商品   |
| ② 中央労働災害防止協会 | : | 有機溶剤作業主任者テキスト |
| ③ 有機化合物事典    | : | 朝倉書店          |
| ④ 安全衛生情報センター | : | MSDS モデル      |

### 販売商品仕様書

- |           |  |
|-----------|--|
| 容器形態及び材質  | レギュラー : 8cc×12 入/ワイド(25cc)×6 本入/ポリプロピレン  |
| 保管取扱の注意事項 | ① 印刷技術者以外の使用は、避けて下さい。特に幼児の手の届かない所に保管して下さい。<br>② キャップを開ける時 液が飛び出す事が有るので充分注意して下さい。絶対に目や口に入れないで下さい。<br>③ 尾栓を開けたり チップを手で触ったりしないで下さい。<br>④ 液が皮膚に付いた時は、直ちに流水で洗い流して下さい。<br>⑤ 使用後は、キャップを必ずして下さい。 |

\* 記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。